

解答

一

- 問一 ウ
- 問二 ウ
- 問三 エ
- 問四 ア
- 問五 泊まりにきた祖母を歓迎するために、電燈を消した部屋で蛍を放すこと。
- 問六 エ
- 問七 自然

二

- 問一 忘却
- 問二 B オ C ウ
- 問三 記憶の良いのが優秀な頭脳だとすると、人間はコンピューターに及ばないというおかしなことになるから。
- 問四 ウ
- 問五 文字革命
- 問六 イ
- 問七 何について忘却するかという点において人の個性がよくあらわれるから。

三

- 問一 A はじめの「ママ」は子どもが母親のことを言い表したものであり、次の「ママ」は父親が妻のことを指して言ったものである。
- 問二 B さみしくて / (卵を) 攪む
- 問三 A イ B エ
- 問四 ア
- 問五 ③

四

- 1 ねこ
- 2 いぬ
- 3 とら
- 4 たか
- 5 いわし

五

- 1 起用
- 2 唱〔える〕
- 3 朗報
- 4 分別
- 5 空輸

解説

一

- 問六 ——線⑤を含む段落に着目します。沈黙の底で息を詰めて、蛍が光るのを待ったことや、私たちの呼吸がひとつになる頃、蛍も生気を戻すようにして呼吸をはじめた様子から、選択肢ウが選べます。
- 問七 蛍を見た後、物音が跡絶え、静かに眠りにつき、蛍狩りのときの「水の流れる澄んだ音」がしていたという様子から、「自然」が、さわしいことがわかります。

二

- 問四 同じ段落にある「コンピューターの存在する現代には、記憶によって知識を保持することに以前ほどの価値がありません。」という記述は、——線②と同じ内容を言い表していることから、選択肢ウが選べます。
- 問五 ——線③を含む一文から、過去にあった「記憶の解放、忘却の評価のチャンス」について述べている部分を探します。「それに似たことが」ではじまる段落から、文字によってものごとを書き留めることができるよう

になった「文字革命」で、記憶の負担が軽減されることになったことがわかります。

三

問三

③の歌からは電柱を見た作者が、少年探偵になったつもりで、電柱に隠れて遊んだ子供の頃を思い出し出している情景が読み取れるので、「普通では考えられない力」という記述を含む、選択肢ウがふさわしくないことがわかります。

問四

「脚あげて少女の投げし」、「飛行機の高きコスモスの中にとどまる」という様子から、動と静を対比させたという選択肢アが選べます。